

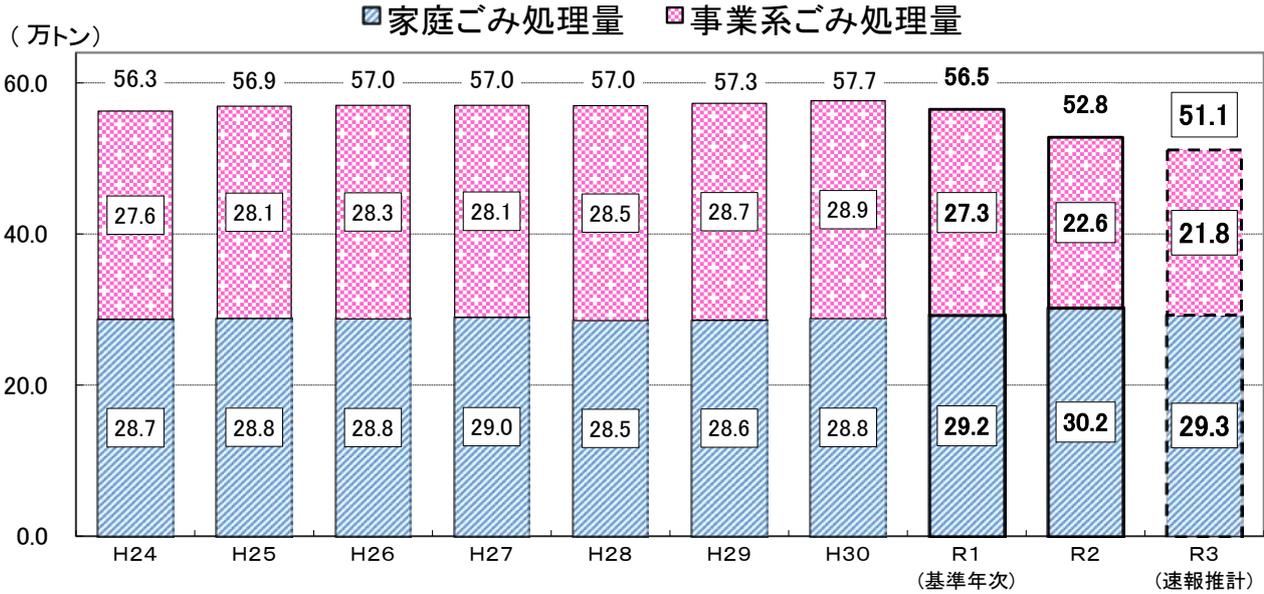
令和4年度 予算案に係る参考資料

	頁
主な指標及び補足事項	
1 ごみの処理量の推移	1
2 市有施設における再生可能エネルギーの導入状況	2
3 工場運営費	3
4 環境市民ファンドの概要	4
5 事業系ごみ資源化推進ファンドの概要	5
6 補助金等の予算一覧及び当初予算額の推移	6
参考 当初予算案の概要	7

環境局

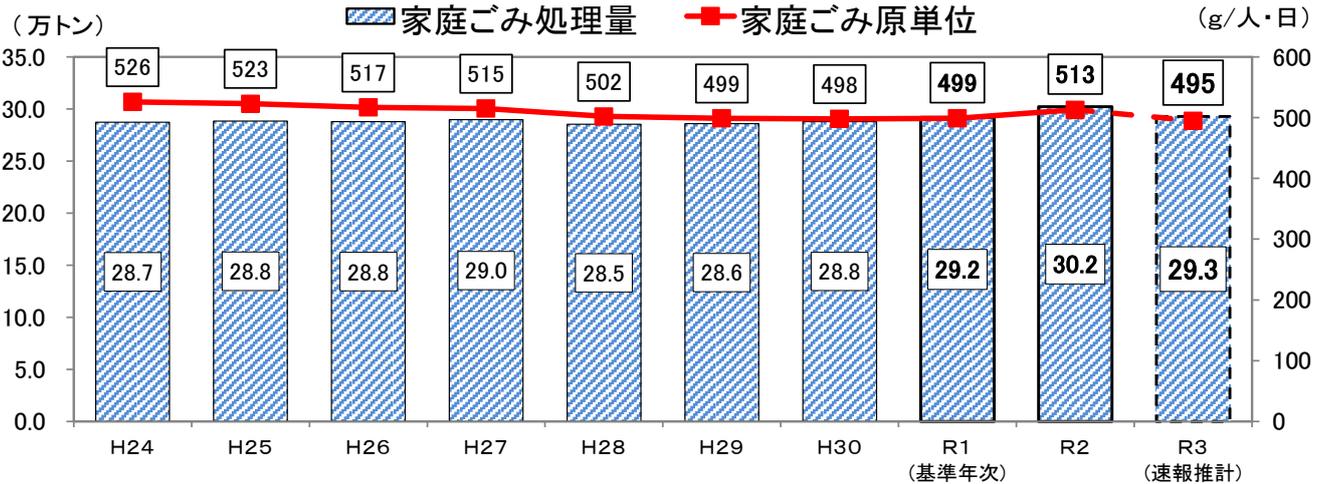
1 ごみの処理量の推移

(1) ごみ処理量について



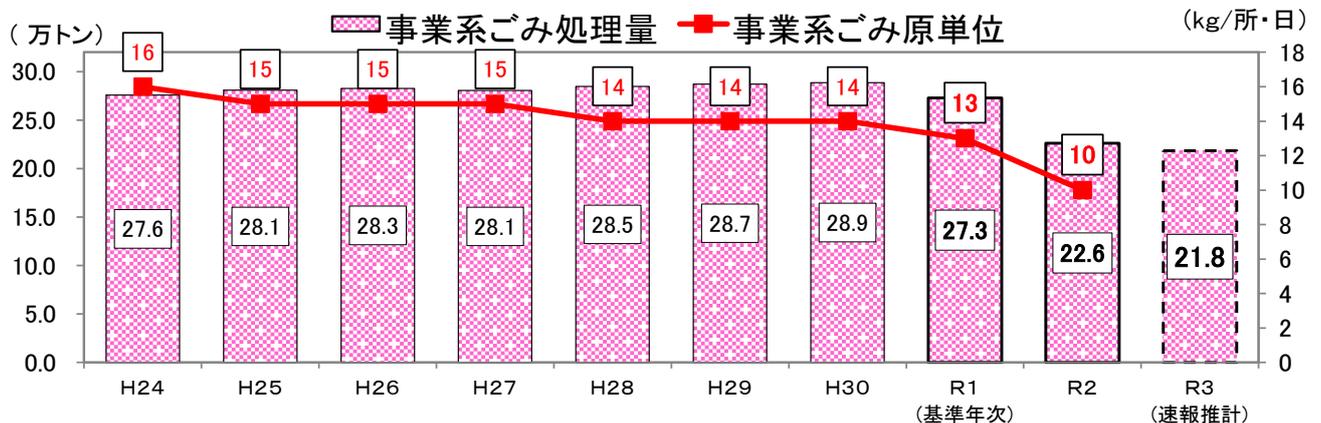
※速報推計は、令和3年度の4月から12月までの実績量と、令和2年度の1月から3月の実績に令和3年度4月から12月の実績量の前年度比増減率を乗じた量から算出した。

(2) 市民1人1日あたりの家庭ごみ処理量(家庭ごみ原単位)



※令和2年国勢調査確報値の公表に伴い人口が修正されたため、平成28年度から令和元年度までの家庭ごみ原単位を遡って再計算しており、循環のまち・ふくおか推進プランに掲載の数値と異なる。

(3) 1事業所1日あたりの事業系ごみ処理量(事業系ごみ原単位)



※事業系ごみ原単位の令和3年度の速報推計については、令和3年度の事業所数(法人市民税における課税事業所数)が現時点では公表されていないため、速報推計の算出をしていない。

2 市有施設における再生可能エネルギーの導入状況

令和4年度の導入予定（新規）

種別		施設数	発電出力	備考
太陽光発電	その他	4	52kW	・西都地区新設小学校 ・地下鉄櫛田神社前駅 ・飯倉中央公民館 ・市営住宅(下山門住宅)※試験導入
合計		4	52kW	

<参考> 令和3年度末見込

() 内は前年度比

種別		施設数	発電出力	備考
太陽光発電	メガソーラー	6	6,519kW	・大原メガソーラー発電所 ・蒲田メガソーラー発電所 ・青果市場太陽光発電所 ・西部水処理センター太陽光発電所 ・新西部水処理センター太陽光発電所 ・蒲田第2メガソーラー発電所
	その他	193 (+4)	2,599kW (+ 22kW)	・公民館 ・小中学校 等
バイオマス発電	廃棄物発電	4	80,900kW	・清掃工場 [東部、西部、臨海、福岡都市圏南部]
	その他	2	2,099kW	・水処理センター[中部、和白]
小水力発電		3	222kW	・浄水場[瑞梅寺、乙金]、 ・曲淵ダム
合計		208 (+4)	92,339kW (+22kW)	屋根貸し等による事業者設置を含む

令和3年度導入施設

太陽光発電 : 早良南地域交流センター、博多区新庁舎、南当仁公民館、柏原公民館

3 工場運営費

工場運営費は、令和4年度の各工場運営に直接必要とする経費であり、施設の減価償却費等は含まない。

区分	福岡市			(株)福岡 グリーンエナジー 東部工場	福岡都市圏南部 環境事業組合 福岡都市圏 南部工場
	西部工場	臨海工場	2工場平均		
運営方式	直営	直営		PFI的手法	DBO方式
施設概要	施設規模 (トン/日)	750トン (3炉)	900トン (3炉)	900トン (3炉)	510トン (3炉)
	稼働開始 (経過年数)	平成4年4月 (30年)	平成13年4月 (21年)	平成17年8月 (16年)	平成28年4月 (6年)
	発電定格能力 (kW)	10,000	25,000	29,200	16,700
[A] 処理予定量 (トン)	120,091	178,000	149,046	184,000	116,400
[B] 工場運営費 (千円)	1,722,500	1,767,792	1,745,146	2,187,417	715,825
トン当たりの工場運営費 (円/トン) (B/A)	14,343	9,931	11,708	11,888	6,149

[A]処理予定量：令和4年度ごみ処理計画に基づく処理予定量

[B]工場運営費：令和4年度焼却処理及び焼却灰運搬に直接必要となる経費
(工場人件費、委託料、光熱水費、薬品費、修繕料、他)

4 環境市民ファンドの概要

(1) 設置の目的

「環境市民ファンド」は、地域やボランティア団体など市民の環境保全に関する実践活動を支援するとともに、地域に根ざした環境保全活動を展開することにより、本市における環境の保全を図ることを目的とする。

(2) 設置年月日

平成17年4月1日(福岡市環境市民ファンド条例)

(3) 対象事業及び充当額

(単位:千円)

	ファンド充当額
1 3R(リデュース・リユース・リサイクル)	550,093
3Rステーション事業	80,280
地域集団回収等報奨制度	214,590
使用済小型電子機器回収事業	1,572
3R推進事業	7,439
生ごみリサイクル促進事業	1,653
蛍光管等の拠点回収事業	14,816
拠点での資源物回収事業	229,743
2 温室効果ガスの排出削減	328,521
緑のカーテン推進事業	2,059
地球温暖化対策シンポジウム等	2,142
ECOチャレンジ応援事業等	10,548
次世代自動車の普及促進	42,615
住宅用エネルギーシステム導入促進事業	271,157
3 自然環境の保護(地域清掃を含む)	69,902
ラブアース・クリーンアップ事業	5,857
博多湾環境保全計画の推進 ※市民共働モニタリング調査等	5,915
生物多様性ふくおか戦略の推進	13,600
地域ぐるみ清掃推進事業等	40,830
不法投棄対策 ※地域活動報奨金、地域活動支援	3,700
4 複合的な活動(上記3分野を含む)	25,401
環境フェスティバル	11,289
未来へつなげる環境活動支援事業	4,443
環境教育推進経費 ※環境学習支援促進	6,804
保健環境学習室事業 ※交流支援	2,865
合 計	973,917

(4) 積立額

(単位:千円)

区 分	積立額	摘 要
寄 付 金	372	
一 般 財 源	882,346	
合 計	882,718	

(5) 基金の状況

(単位:千円)

令和3年度末 現在高(見込)	令和4年度中			令和4年度末 現在高(見込)
	繰入	繰出	差引増減(△)	
149,143	882,718	973,917	△ 91,199	57,944

5 事業系ごみ資源化推進ファンドの概要

① 設置の目的

事業系ごみの資源化に向けた事業者の取組みを支援することにより、循環資源の更なる利用を促進し、循環型社会の形成に資することを目的に設置。

② 設置年月日

平成 23 年 10 月 1 日

(福岡市事業系ごみ資源化推進ファンド条例、設置期間は令和 8 年 3 月 31 日まで)

③ 対象事業及び充当額

		ファンド充当額
1	事業系ごみの減量・リサイクルに関する普及啓発事業	57,931
	事業所ごみ減量再資源化指導	34,416
	事業系ごみ資源回収推進事業	530
	事業系食品廃棄物3R 推進事業	9,959
	事業系古紙資源化推進事業	13,026
2	事業系ごみの減量・リサイクルに取り組む事業者への支援事業	18,177
	事業系ごみ資源化技術実証研究等支援事業	14,038
	事業系一般廃棄物資源化施設の整備支援	4,139
3	その他必要と認める事業	14,617
	事業系ごみの資源化調査	14,051
	事業系ごみ資源化推進ファンド運営委員会	566
合 計		90,725

(単位:千円)

④ 積立額

平成 30 年度末にて基金積立総額が 20 億円に達したため、令和元年度以降は寄附金及び基金の運用益金のみを積み立てるもの。

(単位:千円)

区 分	積立額	摘 要
寄 附 金	100	
運 用 益 金	8,144	事業系ごみ資源化推進ファンド利子収入
一 般 財 源	-	
合 計	8,244	

⑤ 基金の状況

(単位:千円)

令和3年度末 現在高(見込)	令和4年度中			令和4年度末 現在高(見込)
	繰 入	繰 出	差引増減(△)	
1,115,703	8,244	90,725	△82,481	1,033,222

(単位:千円)

		平成 23 年度～ 令和2年度	令和3年度(見込)	令和4年度(予算)
積 立 額	積 立 額	-	3,521	8,244
	累 計	2,018,093	2,021,614	2,029,858
処 分 額 累 計		743,959	905,911	996,636
年 度 末 残 額		1,274,134	1,115,703	1,033,222

6 補助金等の予算一覧及び当初予算額の推移

(1) 補助金等の予算一覧

補助金及び負担金のうち、市民・事業者に対する補助を行っているもの。

(単位：千円)

補助金の名称	交付先	令和 4年度 予算額	令和 3年度 予算額	対前年度 増減(△)額
事業系ごみ資源化技術 実証研究等支援事業補助金	事業者、大学等	14,000	12,000	2,000
未来へつなげる 環境活動支援事業補助金	市民団体・NPO 法人等	3,040	2,829	211
併用世帯ごみ収集事業補助金	ごみ収集許可業者	3,660	3,960	△ 300
福岡市地球温暖化対策 市民協議会負担金		505,250	164,300	340,950
福岡市住宅用エネルギー システム導入促進事業 補助金	市民・住宅の管理 組合等	232,500	138,500	94,000
福岡市次世代自動車の 普及促進補助金	市民・事業者等	38,750	25,800	12,950
福岡市宅配ボックス 導入助成事業補助金	市民・事業者等	234,000	-	234,000
合 計		525,950	183,089	342,861

(2) 当初予算額の推移

環境局の過去5年間の当初予算額の推移は以下のとおり。

(単位：千円)

年 度	当 初 予 算 額	
	歳 入	歳 出
令和3年度	10,711,720	25,481,495
令和2年度	13,940,175	31,519,299
令和元年度	13,526,177	30,929,276
平成30年度	11,870,026	30,469,121
平成29年度	10,550,448	27,952,161

参考 当初予算案の概要

	ページ
01 令和4年度の予算案と重要施策……………	8
02 主な重要事業……………	9

01 令和4年度の予算案と重要施策

令和4年度の予算案及び福岡市環境基本計画（第三次）の施策体系に基づいた重要施策は以下のとおりです。

(1) 令和4年度予算案総括表

(単位：千円)

区分	歳入	歳出
一般会計	11,640,568	29,153,031

(2) 重要施策の体系と予算案

分野別施策

快適で良好な生活環境のまちづくり	128,421千円
ア 黄砂・PM2.5などの大気汚染物質への対応	73,890千円
イ 良好な生活環境の保全	45,261千円
ウ 気候変動への適応	6,108千円
エ 歴史・景観を活かした美しいまちの実現	3,162千円
市民がふれあう自然共生のまちづくり	47,374千円
ア 生き物や自然環境の保全・再生と自然のネットワークの形成	33,774千円
イ 生物多様性の認識の社会への浸透	13,600千円
資源を活かす循環のまちづくり	17,635,240千円
ア 広報啓発の推進	99,623千円
イ プラスチックごみ対策の推進	103,401千円
ウ 古紙等の資源化推進	564,597千円
エ 食品ロス削減の推進	14,703千円
オ 廃棄物の適正処理の確保	16,852,916千円
未来につなぐ脱炭素のまちづくり	732,230千円
ア 温暖化対策の推進	115,086千円
イ 家庭・業務部門の脱炭素推進	306,449千円
ウ 自動車部門の脱炭素推進	310,695千円

分野横断型施策

環境の保全・創造に向けた人・地域・しくみづくり, 広域的な取組み

	48,147千円
ア 環境の保全・創造に向けた人・地域・しくみづくり	33,441千円
イ ふくおか から九州・アジアへ	14,706千円

02 主な重要事業

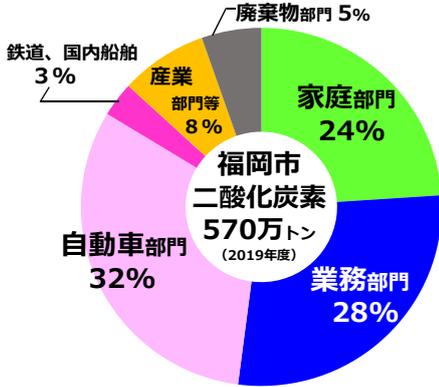
未来につなぐ脱炭素のまちづくり



2040年度の脱炭素社会実現に向け、福岡市地球温暖化対策実行計画を改定し、省エネルギーの推進、再生可能エネルギーの導入や利用、自動車部門の脱炭素推進などに取り組みます。

2040年度 脱炭素社会へのチャレンジ

【福岡市の特徴】



家庭部門

業務部門

自動車部門

廃棄物部門

【施策】

ライフスタイル・ビジネススタイル
(エシカル消費・ESGなど)

再生可能エネルギーの利用

省エネルギー

炭素吸収

【目標(案)】

2030年度の削減目標：(2013年度比) 50%程度(精査中)

福岡市地球温暖化対策実行計画骨子案より

再生可能エネルギーの利用

再生可能エネルギー由来電力の利用、太陽光発電電力の自家消費を推進します！

市有施設の電力を再生可能エネルギー由来電力に切替 新規

庁舎、学校、公民館、浄水場、水処理センター等の使用電力を再生可能エネルギー由来電力へ切替

約5.7万tのCO₂削減

令和2年度の市役所全体のCO₂排出量
(エネルギー起源)の約35%に相当



市有施設への太陽光発電設置に向けた調査 新規

13,334千円

屋根形状や建物構造等発電設備の設置条件の把握

再生可能エネルギー由来電力の利用促進 4,786千円

家庭や事業所における使用電力の脱炭素化を推進するため、再生可能エネルギー由来電力に関する情報や、共同購入手法を活用した導入機会を提供



再生可能エネルギー由来電力

拡充 新たにビル等の高圧電力でも開始

住宅用エネルギーシステムの導入補助 277,960千円

『エネルギーを創って貯めて賢く使う』
自家消費型の住宅用エネルギーシステムの普及促進のため、導入費用の一部を助成



補助額(上限)

蓄電池 40万円 V2Hシステム 20万円 他
(電気自動車と住宅の相互で充給電できる)

補助枠

1億3,850万円 ▶ 2億3,250万円 拡充

自動車部門の脱炭素推進

電気自動車等の導入と、利用環境整備に向けた充電インフラ拡充を推進します！

■電気自動車・燃料電池自動車等の購入
充電設備設置補助 **47,447千円**

補助額

EV 10万円 (電気自動車) PHEV 5万円 (プラグインハイブリッド自動車) FCV 60万円 (燃料電池自動車)

急速充電設備 上限100万円 令和4年には軽EV(ほか)新車種販売予定

補助枠

1,780万円 ▶ **拡充** 2,875万円

800万円 ▶ **拡充** 1,000万円

【関連事業】法人を対象としたFCV購入補助を開始 (30台分 1,800万円)



再配達抑制と受取の非接触化につながる宅配ボックスの購入費用を助成します！

■宅配ボックスの導入助成 **263,248千円**

補助額(上限)

共用 30万円 (購入金額の1/3)

1戸用 5万円 (購入金額の1/2)

補助枠

1億3千万円 ▶ **拡充** 2億3,400万円



新型コロナウイルス感染症
対応地方創生臨時交付金活用

事業所の脱炭素化推進

専門家の派遣などにより取組みを支援します！

■事業所省エネ計画書制度 **9,937千円**
事業所の自主的・計画的な省エネの取組みを推進



■事業所の脱炭素化に向けた啓発・調査 **新規**

3,218千円

- ・脱炭素化セミナー開催
- ・事業所の取組み状況等調査



脱炭素型ライフスタイルの推進

省エネ型家電や環境に配慮した商品の選択等脱炭素型ライフスタイルを推進します！

■ECOチャレンジ応援事業 **10,548千円**

市民の脱炭素行動に対してポイント(交通系ICカードポイント)を付与

拡充 環境に配慮した「エシカル消費」に関する行動をポイントの対象に追加

＜エシカル消費の例＞

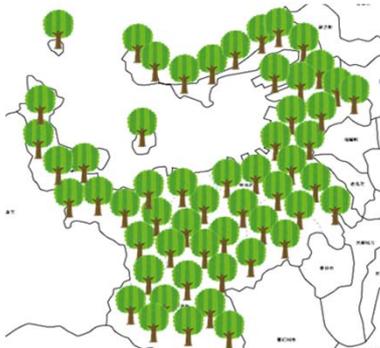
環境に配慮して製造された商品等についての認証ラベルやマークを目印に商品を選択



【参考】令和4年度当初予算における市事業全体での温室効果ガス(CO₂)削減効果(推計)

年間約**21.6万トン**のCO₂の削減効果

森林面積約**4.2万ha**のCO₂吸収量に相当
(福岡市域面積約3.4万haの約**1.2倍**)



①再生可能エネルギーの利用

- ・市有施設の電力を再生エネルギー由来電力に切替
- ・バイオマス発電(清掃工場、水処理センター)
- ・西都地区新設小学校に太陽光発電設置 など

②脱ガソリンへの転換

- ・庁用車のEV導入拡大
- ・次世代自動車の普及促進(車両購入補助) など

③省エネルギーの推進

- ・市有施設の省エネ改修
- ・市有施設の照明LED化 など

④その他の取組み

- ・水素リーダー都市プロジェクトの推進
- ・区役所窓口の木質化 など

資源を活かす循環のまちづくり



新たなごみ処理基本計画である「循環のまち・ふくおか推進プラン」に基づき、発生抑制と再使用の2Rに重点をおいた取組みを推進するとともに、プラスチックごみ、古紙、食品廃棄物を重点3品目と位置付け、更なるごみ減量・リサイクル推進に取り組みます。

特に、プラスチックごみについては、発生抑制やリサイクルの推進等により、循環型社会の構築に向けた取組みを推進します。

プラスチックリサイクル体制構築に向けた取組み

製品プラスチックのリサイクルに向け課題検証を進めます！

■プラスチック回収モデル事業 **55,804千円**

新規

全国的にも回収例が少ない「製品プラスチック」の回収モデル事業を実施し、排出される品目や回収量、リサイクルの状況、効果等について検証。

- 回収方法** 拠点回収(持ち込みによる回収)
- 回収場所** 区役所・市民センター等の公共施設(9か所)
- 回収品目** 製品プラスチック
※素材が単一であることが多く、リサイクルが比較的容易。



【回収品目の例】



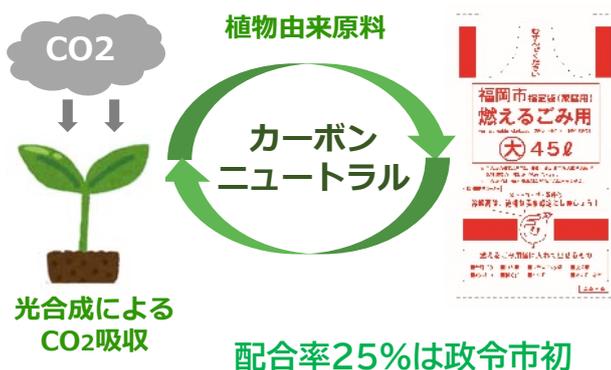
その他プラスチックに関する取組み

生活に身近な製品へのアプローチを通じ、広報・啓発に努めます！

■指定袋への
バイオマスプラスチック導入

19,500千円 新規

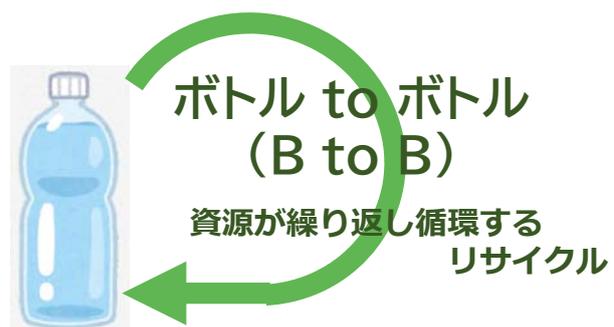
燃えるごみ用の袋の一部にバイオマスプラスチックを導入（配合率25%）。



■「ボトル to ボトル」リサイクルの試行実施

新規

市が回収した使用済みペットボトルが再び新しいペットボトルに生まれ変わるわかりやすいリサイクルに取り組む。

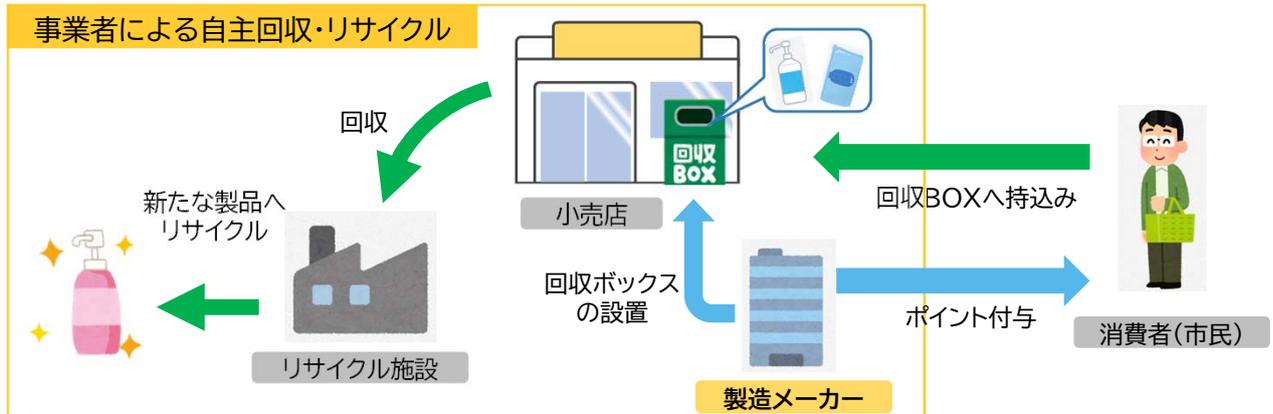


■事業者によるプラスチック製品の自主回収を支援

200千円

新規

製造メーカーが実施する自主回収を広報等により支援し、プラスチックごみ削減を啓発。小売店への情報提供やメーカーとの調整等、市民が回収に協力しやすい仕組みを検討。



食品ロス削減に向けた取組み

食品ロスの発生状況等を分析し、効果的な施策に活用します！

新規

■Webアプリを活用したモニター調査の実施

1,422千円

- ・ Webアプリを用いた食品ロスの継続的な記録により、食品ロス削減につながる実践行動を推進。
- ・ 年代や家族構成ごとの食品ロスの傾向を把握・分析し、効果的な食品ロス削減施策に活用。



古紙の資源化に向けた取組み

大学生の古紙回収の取組みを支援し、更なる資源化を推進します！

新規

■大学生を主体とした古紙回収の支援

1,204千円

SNSなどを活用した情報発信や、大学生のライフスタイルに合った場所での回収、地域と連携した回収など、大学生自らが主体となる取組みを支援し、若い世代のリサイクルの実践行動を推進。

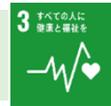


学生発案による情報発信



大学構内や周辺地域での回収活動

快適で良好な生活環境のまちづくり



■熱中症対策の推進

4,049千円

拡充

暑さ指数の予測情報に基づく注意喚起や予防方法などの啓発に取り組みます！

特に高齢者

- 熱中症になりやすい
- 重症化しやすい

高齢者を支え見守る活動を行う地域の方々が、「暑さ指数計」や「高齢者向け予防チラシ」を活用することで、熱中症予防行動につなげます。



暑さ指数計



高齢者向け予防チラシ

市民がふれあう自然共生のまちづくり



■博多湾の魅力を広めるフォトコンテスト

2,714千円

新規

博多湾に関心を持つ市民を増やし、環境保全につなげていきます！

アピールポイントを添えたSNS投稿などによるコンテストを通じて、清掃活動や地産地消などの環境配慮行動に取り組む市民の増加を目指します。

写真



アピールポイント

- 自然豊かな博多湾を満喫
- 新鮮で美味しい魚介類を堪能
- 海岸をきれいにする清掃活動でスッキリ など

SNS投稿等

フォトコンテスト

結果公表・発信

一人ひとりが
できることから始めて
博多湾をみんなで守っていこう！



環境の保全・創造に向けた人・地域・しくみづくり、広域的な取組み



■環境市民活動交流サイト

731千円

令和3年11月開設

環境イベントや市民団体の活動等に関する情報がワンストップで入手でき、市民参加の促進と団体同士の交流の場となるサイトができました！



福岡市環境市民活動交流サイト



市民

参加 UP!

市民活動
活性化!

市民団体

連携 UP!

市民向け

- 環境イベントの検索
行きたい
- 環境教育や施設等の検索
知りたい
- 団体が募集するボランティア情報の検索
参加したい

市民団体向け

- 活動内容紹介、環境イベント告知、ボランティアの募集
発信したい
- 団体への支援情報の検索
支援してほしい
- 団体同士の情報交換 (サイト登録者限定)
情報交換したい

